

「ニューヨーク、ケルン、東京ーオルタナティブ・スペースの発生と都市」 ～都市におけるオルタナティブ・スペースの過去と現在～

オルタナティブ・スペースはさまざまな事象が目まぐるしく移り変わる都市において、時々流行とは一線を画しながら、常に批評的な観点で芸術を発生させる。

今回のシンポジウムではパネリストに、この2、30年の間、ニューヨーク・ケルン・東京という大都市の中で、実験的な芸術の場を確保し、独自の意味を持つスペースを運営してきたディレクター3名に、気鋭の社会学者1名を加え、「芸術における都市」あるいは「都市における芸術」というテーマについて、時代の変化を踏まえながら参加者と共にディスカッションを行う。

それにより、芸術における大きなテーマが見つけれられない今日において、アーティストが自主的に集まるような磁場を持った場の重要性が浮かび上がるとともに、過去にそのような役割を担っていたオルタナティブ・スペースの現在のあり方を問う。

<参加パネリスト紹介>

- ・フィル・ニブロック
ニューヨークのオルタナティブスペース/エクスペリメンタル・インターメディア、ディレクター。ベルギーのアントワープにも同スペースを展開、サポートしている。インターメディア・アートの草分け的アーティストでもある。
- ・クリスティアン・メアシェイト
ドイツのオルタナティブスペース/モルトケライ・ヴェルクシュタット、ディレクター。80年代よりサウンド・インスタレーション、パフォーマンス等の実験的作品的紹介に努め、ドイツ国内にてオルタナティブスペースとして先駆的な活動を行う。また、自らもアーティストとして活動する。
- ・酒井信一
ギャラリー・サージ、ディレクター及び、ICAEE/国際現代美術交流展実行委員会代表。作家活動を経て83年より画廊パレルゴンIIを主宰、89年からギャラリー・サージ、91年には芸術の国際交流を目的とするICAEEを立上げ、主にヨーロッパとの国際交流の企画を数多く手掛けている。
- ・若林幹夫
社会学者(都市論、メディア論)。著書に、「熱い都市 冷たい都市」(弘文堂)、「地図の想像力」(講談社)、「都市のアレゴリー」(INAX出版)、「都市の比較社会学」(岩波書店)がある。
- ・コーディネーター/伊藤洋介 (バドゥルズ2000ディレクター/W³アーティスト)

日時：2000年10月28日(土) 17時-19時

会場：ドトールコーヒーショップ岩本町2丁目店 (定員50人)
東京都千代田区岩本町2-8-15

参加費：500円(コーヒー付き)

<お問い合わせ先>

ギャラリー・サージ

101-0032東京都千代田区岩本町2-7-13 渡辺ビル1F
TEL.03-3861-2581 FAX.03-3861-2582
2-7-13, iwamoto-cho, Chiyoda-ku, TOKYO 101-0032
URL=<http://www.catnet.ne.jp/surge/>
e-mail=surge@catnet.ne.jp



<交通案内>

- ・JR利用
山手・京浜東北線「神田」駅東口より徒歩6分
総武快速線「新日本橋」駅8番出口より徒歩8分
・地下鉄利用
営団銀座線「神田」駅より徒歩6分
営団日比谷線「小伝馬町」駅4番出口より徒歩5分
都営新宿線「岩本町」駅A5出口より徒歩5分